

## ★ 提案 55 の賛成意見 ★

提案 55 は、確実に富裕層の Californians にその課税分を引き続き支払わせることで、増税なしで数十億の予算削減を予防します。提案 55 は、教室に確実に資金提供する説明責任と透明性を厳しく要求するものです。予算カットや教員の解雇の時代に戻る金銭的な余裕はありません。

実態 1: 提案 55 は税率の引き上げをするものではありません。

- 税率の引き上げをしない。提案 55 は、年収 \$500,000 以上ある世帯の現行の所得税率をそのまま維持します。
- 最も余裕のある Californian の富裕層にのみ影響を与えます。その所得税率を引き続き支払うこととなります。
- 消費税の減税。提案 55 では、California のすべての消費税は減税されます。

実態 2: 提案 55 では、教育基金が確実に教室に使われるよう、透明性と説明責任が厳しく求められます。

- 資金は地方の学校に支給され、議会はそれを使用できません。厳しい説明責任が求められるため、教育資金は教室に支給され、官僚機構や管理経費に使うことはできません。刑事検察官に金銭の誤使用があった場合の権限を与えます。
- 必須の監査および厳しい透明性義務地方の教育区は、Californians が基金がどのようにおよびどこに使われたのかが正確にわかるように、年次決算をオンラインで掲示しなければなりません。

- 教育資金の管理は地方単位で行う提案 55 は、学生のニーズを決定するため地方の学校役員会を制御します。

実態 3: 提案 55 は、最大 \$40 億の教育予算の削減を予防し、不況下での基金の削減分を引き続き修復します。

- 提案 55 が可決すれば、迫る California の教員不足に対処できます。州は、翌年度だけで、さらにおよそ 22,000 人の教員が必要です。提案 55 は、教員採用および過密教室の問題を予防するために必要な資金を、地方の教育区に供給します。

- 提案 55 によって、芸術と音楽のプログラムを復活できません。芸術および音楽のプログラムは、不況下で大幅な予算削減に直面しました。提案 55 は、これらのプログラムを保護し

復活させることができるでしょう。

- より手ごろな価格でカレッジに通学できるようにする。提案 55 は、California コミュニティカレッジの予算削減を予防します。授業料増大を妨げ、California の 210 万人のコミュニティカレッジに通う生徒がよりクラスを取りやすくします。
- 子供が利用できるヘルスケアの拡大より健康な子供はより健康な生徒です。基本的なヘルスケアを受ける金銭的な余裕がない家族が多く、つまり子供たちは学校を休んだり、病気のまま通学しています。提案 55 が可決すれば、子供たちが健康な状態で通学できるようになります。裕福な Californian だけでなく、子供はすべて、高品質のヘルスケアを受ける機会が与えられるべきだからです。California は、前進しつづける必要があります。公立学校、カレッジやヘルスケアの予算がカットされた時代に戻る金銭的な余裕はありません。

30,000 名の教員が解雇され、クラス規模は拡大し、コミュニティカレッジにかかる費用は二倍になりました。

Jerry Brown 州知事は、提案 55 が可決されなければ、さらなる予算削減に直面するだろうと言っています。

提案 55 は、Californians に 2 つの選択を迫るもので、それは、学校と生徒を大幅な予算削減から守る賛成票か、学校に年間最大 \$40 億の費用がかかる反対票のいずれかです。

California の学校は回復傾向にあります。提案 55 が可決すれば、子供たちは別の予算カットに直面せず済みます。California の未来は、子供たちの未来にかかっています。

子供たちと学校は最も重要な案件だからです。詳細は [www.YesOn55.com](http://www.YesOn55.com) をご覧ください。

**JUSTINE FISCHER**, 社長

California 州 PTA

**ALEX JOHNSON**, エグゼクティブ・ディレクター

児童保護基金 — California

**TOM TORLAKSON**, California 州公共監督者

## ★ 提案 55 の賛成意見に対する反論 ★

一時的は、「一時的に」を意味するものとします。

有権者は、2012 年度に所得税および消費税の税率の引き上げを支持しました。これは、Jerry Brown 州知事が一時的であると公約したからです。

州は余剰予算で、これらの一時的な課税は、州知事が公約した通り、廃止すべきです。

提案 55 は小企業に影響を与え失業率を上げます。

提案 55 は、失業率を上げ、事業を閉鎖に追いやり、経済を圧迫します。また California の小企業の課税率を引き上げ、高賃金の仕事の創出は困難です。

政治家や特別利益団体は信用できません。

政治家や特別利益団体は、California は、プログラムは予算削減に直面していないことを認識しています。提案 55 を可決し、政府を大きくしたいだけです。子供たちと学校を利用し、有権者を脅かし支持を得ようとしています。惑わされてはいけません。

学校は、十分に資金援助されます。

教育費用は、2012 年から \$246 億まで増大しました。52% 増です。

学校は資金援助されており、州の予算は均衡を保っています。\$27 億の余剰金があり、\$94 億の予算枠があります。

提案 55 の新しい増税は必要ありません。

脅しの戦略に惑わされないでください。提案 55 は不要です。独立した立法分析家が見積もる公式予算は、予算と学校の基金支援の均衡を取るために増税は必要ないと示しています。

California は、新しい課税や税率の引き上げなしに、教育、ヘルスケアと州政府に資金援助できます。

提案 55 に反対票を投じてください。

**JON COUPAL**, 社長

Howard Jarvis 納税者協会

**TOM SCOTT**, 州エグゼクティブ・ディレクター

全国独立事業連合 — California

**TERESA CASAZZA**, 社長

California 納税者協会

★ 提案 55 の反対意見 ★

2012 年、有権者は提案 30 の増税案を支持しましたが、この法案は一時的なものであり 2017 年に廃止されると確約されていたからです。

現在、特別利益団体は、この公約を破り、さらに 12 年、課税期間を延長したいとしています。

これは一時的なものではありません。

ここに 2012 年の法案の公式タイトルがあります。

提案 30。教育資金への一時的な課税、公共安全資金の保証州民発案による憲法改正

一時的は、「一時的に」を意味するものとします。

有権者は、2012 年度に所得税および消費税の税率の引き上げを支持しました。これは、Jerry Brown 州知事が一時的であると公約したからです。

「これは一時的な課税で、この範囲において一時的なまま存続します」 Brown, Sacramento Bee 州知事, 2014 年 10 月 7 日

Brown 州知事は、この増税は一、二年間のみ継続しその後廃止することを公約しました。現在、特別利益団体はさらに 12 年延長したいとしています。これは「一時的」ではありません。California の経済は回復し、現に余剰予算になっています。

税率の引き上げは必要ありません。

California は均衡予算で、負債を削減し、学校の経費を増やし、California の「予備費」に充てても、さらに \$27 億の余剰予算があります。

California は、必要な税額以上を課税しています。州の予算が 2012 年度には \$160 億の赤字から 2016 年度には \$27 億の黒字に転じたのはそのためです。

教育費用は、2012 年から \$246 億まで増大しました。これは 52% 増です。

Medi-Cal の費用は、\$29 億まで増大し、これは 13% 増です。新しい課税や税率の引き上げなしに、教育、ヘルスケアと州政府に資金援助できます。

Brown 州知事は、立法分析者による予算見積もりから、増税は予算均衡には不要であると述べています。

学校およびその他の重要な要件に適切な資金の供給を受けているので、政治家は無駄が予算をカットし経費の適切な使用が必要です。California 史上最大の増税は必要ありません、有権者に説明責任のない Sacramento に投資するべきです。

提案 55 は、CALIFORNIA の小企業をターゲットに 12 年間の増税をするものです。

この法案は、個人の納税申告書で事業所得の課税対象となる小企業をターゲットにしています。提案 55 は、失業率を上げ、事業を閉鎖に追いやり、経済を圧迫します。

特別利益団体は、使う資金がさらにほしだけなのです。

これは提案 55 の資金は、教室や道路計画に使うのではなく、年金やその他の州の負債の支払いに使われます。宝くじのようなものです。資金がどこに使われるのか全くわかりません。政治家や特別利益団体は信用できません。

政治家や特別利益団体は、California がどのプログラムも予算削減に直面していないことをよくわかっているのです。提案 55 を可決し、政府を大きくしたいだけです。州税を最大にしたいのです。

よく考えてください。California には、\$27 億の余剰金があり、\$94 億の予算枠があります。

新しい税金や増税は必要ありません。

CALIFORNIA は約束を守るべきです。一時的は、「一時的に」を意味します。

提案 55 に反対票を投じてください。これは公約違反です。

**JON COUPAL**、社長

Howard Jarvis 納税者協会

**TOM SCOTT**、州エグゼクティブ・ディレクター

全国独立事業連合—California

**HON. QUENTIN L. KOPP**、前上位裁判所裁判官

★ 提案 55 の反対意見に対する反論 ★

提案 55 に賛成票を投じてください。子供たちを守りましょう。

提案 55 は、教育費の大幅予算カットを許しません。子供たちの教育と健康を守ります。

提案 55 による課税はありません。

• 提案 55 は、富裕層の Californians の現行の税率を維持し、年収 \$500,000 ある世帯に引き続き所得税の支払いを課すものです。• 提案 55 は、小企業の税率の引き上げをするものではありません。• 提案 55 では、2016 年末に消費税の税率の引き下げを予定しています。

提案 55 は、公立学校の年間 \$40 億の予算カットを阻止します。

• 提案 55 は、教員不足を解消し、教育費を回復します。

• California の高等学校の卒業率は六年連続で上昇しています。

提案 55 は、引き続き前進しています。

はい、提案 55 では、教育基金が確実に教室に使われるよう、説明責任と財政的要件が厳しく求められます。

• 歳入は、学校と子供のヘルスケア用の特別アカウントに確保し、議会はその資金に触れることはできません。• 資金は毎年監査の対象となります。資金の監査報告は <http://trackprop30.ca.gov/> に掲示されますので、納税者はどこに資金の使途がわかります。• 資金が教室に使われるよう厳しい要件があります。管理費や Sacramento 官僚機構に使われることはありません。• 提案 55 は、資金の不正使用があった場合には刑事検察官にその権限を与えています。• 富裕層に対する現行の税率を続行するかどうかは投票と州民の意見で決定します。

**ERIC C. HEINS**、社長

California 教師協会

**BETTY T. YEE**、California 州会計検査官

**ANN-LOUISE KUHN**、社長

California 小児病院協会